

6・26 抗議集会に結集しよう！ 山本さんを元職場に返せ！

あらかじめ仕組まれた出向延長の強要を許すな！

会社は6月末で出向期間の満期を迎える山本修さんに対して、本人の「JR本体に戻りたい」という希望を無視して3年間の出向延長を強要しています。

それは初めから仕組まれたものでした。5月28日の一回目の面談において車両部係長は「希望を聞きに来た訳ではない。延長を伝えにただけだ」と山本さんの話しは聞かない一方的な対応でした。そして翌日、本部・地本が会社窓口に抗議したところ、6月1日に同じ係長が面談し今度は一転し「大井では通勤が大変でしょう」と山本さんの話しを聞くようなソフトな対応になりました。しかし6月7日車両部担当課長と係長の二人が面談し、担当課長は「車両所の環境は劣悪だ、仕事も重労働。SMTの方が良い。私が判断する立場なら車両所にはしません」とまたもや一方的な対応で終わった。

ゴミが残っても車出せます。安全安定輸送に関係ない。

また担当課長は「ゴミが残っていても車出せます。安全安定輸送に関係ない。」というSMTの仕事をバカにするようなことを言いました。はたして東京駅折り返し列車にゴミを残したまま新幹線を発車させてもいいのでしょうか？関連企業だからと上から目線でしか見ていないのでしょうか？つまり山本さんにたいしても「あなたに車両所の仕事などできない、安全安定輸送には関わりがない仕事しかできない」と侮辱した態度でしか見ていないということです。

会社は不当労働行為をやめ、山本さんを返せ！

そして6月14日山本さんに対して管理部人事課から「出向期間を2015年6月30日まで延長する」という事前通知が出されました。山本さんは現在51才であり、3年後は54才原則出向の対象になり、そのままJR本体に戻れないことになります。

会社は協約にある「出向する事についての理解を得る取り組みを行うこととしたい。」をやっていません。これは初めから「出向延長」の強要であり、協定に反する不当労働行為です。私たちは、あらゆる手段を使い事前通知の撤回を求めます。

『山本修さんへの不当な出向延長 抗議集会』東京地区分会主催
6月26日（火） 18時30分より八丁堀区民館にて